

教科	科目	学年	単位数
音楽		2 年	1
使用教科書		副教材	
中学生の音楽 2・3 上〔教育芸術社〕			

1. 学習目標

- ・音楽を形づくっている要素などの働きについて実感を伴いながら理解し、表現や鑑賞に生かすことができるようにすること。さらに、音楽に関する歴史や文化的意識を、表現や鑑賞の活動を通して、自分との関りの中で理解できるようにする。
- ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関りについて考えることにより、自分のイメージをもって音楽表現をしたり、音楽を評価したりしながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。
- ・音楽活動を通して、音楽と人々の生活などとの関りに関心をもち、音楽が人々の暮らし、地域の風土、文化や歴史などの影響を受け、社会の変化や文化の発展とともに生まれ育ってきたことを感じ取る。

2. 評価の観点と方法

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に着けている。 「観察」「ワークシート」「小テスト」により生徒のよさや成長の度合いを促し評価する。	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 知覚・感受の様子を「観察」「ワークシート」を用いて評価するが、「観察」「ワークシート」を同等に用いる場合と、「観察」が「ワークシート」の記述を補完する場合がある。	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな感性を培っている。 活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組む様子を、題材を通した継続的な「観察」と振り返りなどを記述した「ワークシート」を同等に活用し評価する。

3. 学習内容 [右ページ参照]

4. その他[科目の特徴や学習の注意点など]

「音楽のよさや楽しさを感じるとともに、思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりすること」「音楽と生活との関わりに関心をもって、生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育むこと」を大切にす。知性だけでは捉えられないことを知性と感性を融合させながら捉えることを大切にする教科である。

	月	授業内容	学習内容及びポイント
	4	作曲者のメッセ 「夢の世界」	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理

一 学 期	5	一ジを考え曲にふさわしい表現を工夫しよう	(芙龍明子作詞、橋本祥路作曲)	解する。
	6	日本歌曲を歌い継いでいこう	「夏の思い出」 (江間章子作詞、中田喜直作曲)	・音色。リズム、テクスチュア、構成を知覚し、それらが生み出す特質との関わりを考え表現を工夫する。
	7	多声音楽のよさや美しさを味わおう	・「フーガト短調」 (バッハ)	音、身体を使い方等の技能を身に付ける。 ・楽曲のリズム、速度、旋律（音のつながり方やフレーズ）、強弱、形式を知覚し、それらが生み出す特質を感じ取りながらふさわしい表現を工夫する。 ・歌詞が表す情景や心情、曲の表情、味わいに関心をもち、長く歌い継がれる日本歌曲に親しむ。 ・楽曲の曲想と構造との関わりについて理解し、作曲者の意図を考え合わせる。 ・楽曲の音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じその関わりについて考える。
二 学 期	8	曲の構成や背景	歌劇「アイーダ」 (ヴェルディ)	・音楽の特徴とその背景となる物語の内容との関わりについて理解する。
	9	の物語・舞踊との関わりを理解して聴きそのよさを味わおう		・音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
	10	箏の音色や響き、奏法の特徴やよさを感じ取ろう	「少年時代」	・箏の音色や響きと奏法との関わりについて理解する。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体を使い方などの技法を身に付け表現する。
	11	ベートーベンは何を訴えたかったのか考えよう	・交響曲第五番ハ短調 (ベートーベン)	・箏の音色や旋律、テクスチュアを聴き取り、それらが生み出す特質を感じ取りその関わりを考える。 ・楽曲の曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 ・音色、リズム、旋律、形式、構成を聴き取りその味わいとの関係を考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。
三 学 期	1	長唄の歌唱や歌舞伎の鑑賞を通して、日本の伝統音楽のよさを味わおう	歌舞伎「勧進帳」	・歌舞伎「勧進帳」の音楽の特徴と声の音色や響き、言葉の特性との関わりを理解する。
	2			・背景となる江戸時代の文化や歴史、舞踊や演劇との関わりを理解する。
	3	コード進行をもとに旋律をつくろう	オリジナルコードによる創作	・江戸時代や現代の生活や社会における歌舞伎の意味や役割を考え、伝統芸能のよさや美しさを味わって聴く。 ・コード進行及び音のつながり方の特徴、反復、変化、対照などの構造上の特徴について理解する。 ・曲の構成と全体のまとまりについて関心をもち、創意工夫のある作品を創作する。

